

# やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度の概要

農業分野において土壌に二酸化炭素を炭素として貯留しゼロカーボン社会の実現や地球温暖化の抑制に貢献

## 認証区分

### アチーブメント (Achievement)

【実績(成果)の認証】

- 土壌への炭素貯留量の実績に基づき認証
- 取組を行う圃場、生産された農産物等を認証

## 認証する具体的な取組

【アチーブメント、エフォート共通】

- ① 草生栽培による雑草等の投入



- ② 堆肥、土壌改良材等の有機物を含む資材の投入

- ③ 生産圃場内で発生する剪定枝等作物残渣の投入



- ④ 剪定枝等を原料として製造したバイオ炭の投入



- ⑤ その他炭素貯留が見込まれる取組

## 認証基準・有効期間

### アチーブメント

【認証基準】

- ・左記の取組により土壌に年間1.0 t/ha以上の炭素を貯留する取組

【有効期間】

- 3年間  
※毎年実績を報告

### エフォート

【認証基準】

- ・左記の取組により土壌に炭素を貯留することが確実に見込まれる計画

【有効期間】

- 3年間  
※3年目に実績を報告

## 炭素貯留の算定方法

### アチーブメント

申請書に基づき、各農務事務所が国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センターの「土壌のCO<sub>2</sub>吸収「見える化」サイト」サイトにより算定

### エフォート

申請時に県が定める土壌への標準的な炭素貯留量(下記)に基づき申請者が算定

草生栽培	0.4t/ha/年
バイオ炭	0.2t/ha/年
剪定枝チップ	0.3t/ha/年
堆肥	0.5t/ha/年

## 認証マーク使用

アチーブメント、エフォートとも

使用可能



YAMANASHI  
4 per 1000  
INITIATIVE

※利用方法は、やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物認証等ロゴマーク使用規定による。

ステップアップ

### エフォート (Effort)

【取組(計画)の認証】

- 実施する具体的な取組について目標を定め、土壌への炭素貯留量が見込まれる計画を認証
- 取組を行う圃場、生産された農産物等を認証